

ICTで校務をDX!

学年 小学校複数学年 教科 校務 など

Google Formsで業務負担軽減!

使用するアプリケーション等

Google Forms

DXする題材 Google Formsの活用

DXのねらい Google Formsの活用によって業務の効率化を図り、業務の負担を軽減する。

ICTを活用することで できること

- ・児童の出欠確認が効率的に行える。
- ・保護者や教員の学校評価が簡単に行え、集計も効率的にできる。
- ・新年度のクラブ人数の調整にかけられる時間が大幅に削減でき、効率化を図ることができる。
- ・児童へのアンケートの実施、集計が簡単に行える。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 児童の出欠確認

- ①保護者が健康観察カードに手書きで記入し、押印。
- ②児童が登校後、各教室で健康観察カードを提出。
- ③提出していない児童には学校で検温し、押印。
- ④児童が欠席するときには、保護者が学校にメール。
⇒欠席連絡の行き違いがあった場合には、教室から職員室に行き出欠を確認。

2 学校評価

- ①保護者も教員も、紙のアンケート用紙を配付。
- ②提出された回答を手集計、記述回答も手入力。
⇒どれだけの回答があったかは、回収した評価用紙を数えて確認。

3 新年度のクラブ希望調査

- ①児童に、クラブ希望調査を紙で配付し、児童は第3希望までクラブ名を記入して提出。
- ②回収した希望調査を担当が集計し、クラスごとにExcelデータに入力。
- ③集計した人数をもとに、クラブごとの人数調整を行う。

4 校内研修での児童アンケート

- ①児童へのアンケートは紙で配付し、児童は設問に回答し提出。
- ②担任は、クラスや学年ごとに集計を手作業で行う。
- ③指導案にクラスの実態についてのグラフを掲載したい場合には、別途Excelに入力し、データをグラフ化。

DX!

DX後

1 児童の出欠確認

- ①保護者は、家庭で検温後、クラスごとのGoogle Formsに体温を入力。欠席の場合も、同じGoogle Formsに欠席の旨とその理由を入力し、回答。
- ②教員は、Google Formsから出力したスプレッドシートを開き、児童の体温や出欠状況を確認。
⇒スプレッドシートに情報が残ることで、連絡の行き違いがなくなった。また、職員室にいる先生が、受けた電話の情報を教室まで伝えるという業務もなくなった。
※欠席児童に対しては、Google Meetで授業の配信を行ったり、Classroomで翌日の連絡を伝えたりしている。

2 学校評価

- ①家庭には学校評価の回答をお願いする文書を配布し、回答用のQRコードを掲載。保護者はQRコードを読み込み、Google Formsで回答。
- ②教員は、職員用のClassroomに投稿された学校評価のGoogle Formsに回答。
- ③回答はGoogle Formsからスプレッドシートを出力し、確認。
⇒記述回答も改めて打ち直す必要もなく、また、回答のグラフ化も容易なため学校評価に関わる業務を大幅に削減できる。

3 新年度のクラブ希望調査

- ①クラスごとに作成しているClassroomに、Google Formsで作成した「クラブ希望調査」を投稿し、児童はそれに第一希望のクラブを回答。
- ②教員は回答をもとに、各クラブの希望人数を集計し、人数を調整。

3-1 男

第一希望

- ★バドミントン
- ★卓球
- サッカー
- 球技
- 和太鼓
- ★コンピューター
- アニメ・工作
- ★科学・自然観察
- ★室内ゲーム
- 手芸・料理

戻る 送信

4 校内研修での児童アンケート

- ①校内研修の調査部（校内研修の専門部の1つ）が、アンケート項目を検討し、Google Formsで作成。
- ②各クラスのclassroomに投稿し、児童が回答。
⇒1年生は、タブレットで記述回答をするのがまだ難しかったため、紙のアンケート用紙を併用。
- ③回答をスプレッドシートに書き出し、クラスの実態を把握。指導案に実態を載せたい場合には、データをグラフ化。

授業者から (成果・課題・留意点)

- ・ Google Formsの活用により、集計や集約など、今まで時間のかかっていた業務の効率化を図ることができた。
- ・ 係活動などで児童が活用している例もあり、校務だけでなく学級内での効果的な活用もできる。今行っている活用方法をもとに、さらに活用の幅は広げられそうである。
- ・ Google Formsの活用を通して、ICTが業務効率化のためには有効であると教員側が実感できた。様々なICTを活用するにあたって、Google Formsはそのスタートとしてよいと感じた。